

西宮市立図書館事業計画

平成31年度(2019年度)～平成35年度(2023年度)



旧西宮市立図書館

西宮市教育委員会

目 次

1	西宮市立図書館基本的運営方針	1
2	西宮市第5次総合計画（平成31年度～平成40年度）	2
3	西宮市立図書館事業計画（平成27年度～平成30年度）外部評価	2
4	西宮市立図書館事業計画（平成31年度～平成35年度）	3
	重点事業1 知る楽しみ・学ぶ喜びを支える図書館の魅力の向上	3
	重点事業2 市民の生活や仕事に役立つ課題解決支援サービスの充実	4
	重点事業3 子供の読書活動の推進及び学校図書館への支援の充実	6
	重点事業4 高齢者・障害のある人など来館困難な市民へのサービス拡充	8
	その他の事業	8
	<参考とする指標>	10
	●資料	
	<資料1>西宮市市政モニター調査（平成30年度第1回）〔図書館関係のみ〕	
	<資料2>西宮市の将来人口推計（西宮市第5次総合計画より）	
	●用語説明	

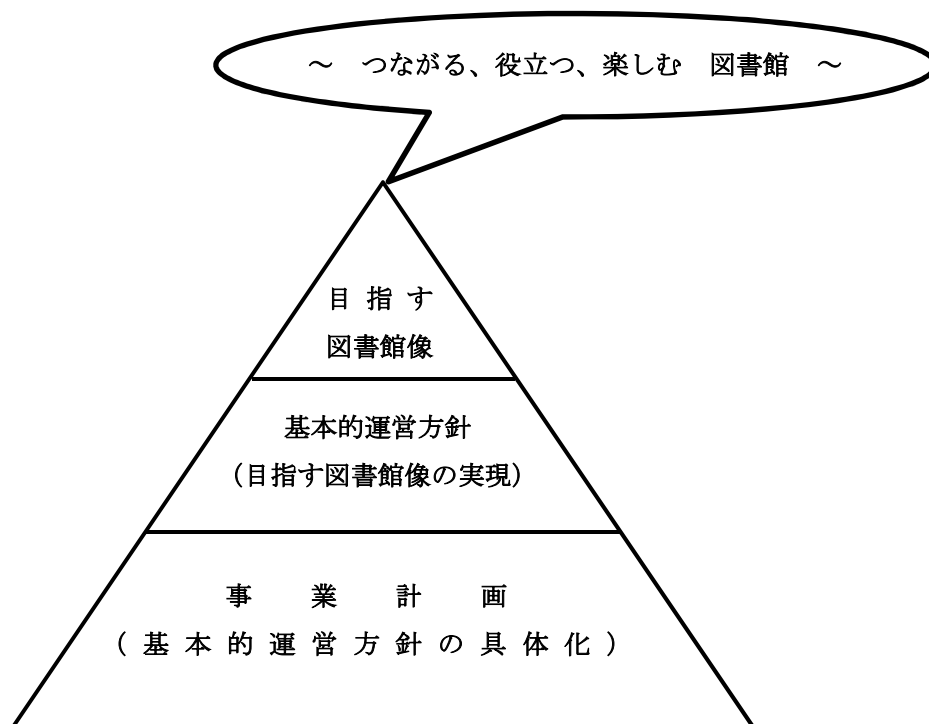
（注）本計画において、「西宮市立図書館」は「図書館」と記します。

1 西宮市立図書館基本的運営方針

図書館では、「文教住宅都市宣言」の理念である、文教の振興を図るため、市民の自主的な学習や自律を支援する生涯学習の拠点となるべく、「つながる、役立つ、楽しむ図書館」という目指す図書館像の実現に向け、図書館事業の実施に関する基本的運営方針を定めており、その運営方針の具体化のため、事業計画を策定しています。

- (1) 市民の読書活動を推進し、知る楽しみ・学ぶ喜びを支えます。
- (2) 市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点として、市民生活を支えます。
- (3) 子供たちが読書に親しむ環境づくりを推進します。
- (4) 図書館利用が困難な市民に、利用しやすい環境づくりを進めます。
- (5) 市民との協働を推進するとともに、市民に交流の機会・場を提供します。
- (6) 図書館司書の専門性を発揮し、市民サービスを提供します。

(平成 27 年 4 月策定)



2 西宮市第5次総合計画（平成31年度～平成40年度）

「西宮市第5次総合計画」においては、市民一人ひとりが年齢や性別、障害の有無などにとらわれず、学びたいときに学び、生きる力を身に付け、それによって豊かな生活を送り、学習の成果を社会に還元することができる社会の実現を目指しています。

そのため、市民一人ひとりの生涯学習を支える基本的な学習施設「知のインフラ」である図書館には、司書によるレファレンスサービス^{*1}の更なる向上など、市民が生活する上での課題解決に資する「情報拠点」としての運営が求められているほか、乳幼児や青少年の豊かな人間形成のため、子供の発達段階に応じた読書活動を推進する必要があるとされています。

3 西宮市立図書館事業計画（平成27年度～平成30年度）外部評価

前期「西宮市立図書館事業計画」に基づく図書館の取り組みについて、平成30年1月に外部評価を受けました。その報告書によれば、市民一人当たりの貸出冊数などに代表される諸指標から、本市図書館のサービス水準は高いと評価されました。一方で、以下のような改善をおこなうべきとの指摘がありました。

- ・資料費に割く予算を増やすこと
- ・マネジメントを行う司書（正規職員）の割合を増やすこと
- ・成人、特に働き盛りの市民の利用を増やすこと
- ・施設や設備に関する市民からのニーズに的確に対応すること
- ・地域の課題解決に図書館の各種サービスが有効であることを、多様な手段を通じてアピールすること
- ・市議会議員や市職員などに施策立案の際の課題解決にとっても図書館の各種サービスが有効であることを認識してもらうこと

以上のように、市民ニーズに応え、地域課題の解決を支援することができれば「まちづくり」に貢献できる図書館となります。また、働き盛りの市民の利用が増えれば、市民全体のための図書館として位置付けられていきます。そのためには、早急なサービスや業務の見直し、すなわち業務の優先順位の変更や効率化を進める必要があるとの意見を受けています。

4 西宮市立図書館事業計画（平成 31 年度～平成 35 年度）

前記の外部評価の結果を受け、「西宮市第 5 次総合計画」や「西宮市立図書館基本的運営方針」に基づき、平成 31 年度から平成 35 年度までの事業計画を以下のとおりとし、文教住宅都市にふさわしい「知のインフラ」として、蔵書の充実や司書の専門性を生かしたサービスなどを重点事業に据え、魅力の向上と図書館機能の充実を図ります。

また、平成 29 年度に着手した図書館の組織及び運営体制の見直しを引き続き行い、積極的に地域へ出向くなど市民との接点を増やし、よりきめ細やかで質の高いサービスを行うことで、市民生活に密着した図書館運営をめざします。

重点事業 1 知る楽しみ・学ぶ喜びを支える図書館の魅力の向上

インターネットやスマートフォンなどの普及により、身の回りには大量の情報が溢れ、余暇の過ごし方や娯楽も多種多様となり、出版物に親しまないという意味での活字離れが進んでいます。

図書館では、蔵書の質・量の両面での充実を図るとともに、活字文化の魅力に市民がふれられるような活動に取り組み、市民の読書活動を推進していきます。

また、図書館は市民が各自の思索を深め、自分だけの時間を過ごすことができる居場所としての役割を持っており、市民誰もが気軽に情報に接することができる環境づくりに努めます。

<事業内容>

事業名	説明
蔵書の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆図書費の増額 <ul style="list-style-type: none"> ・組織及び運営の効率化による財源捻出 ・ふるさと納税や広告収入などの自主財源の確保 ・クラウドファンディング*²の検討 ・各種補助金の活用 ◆購入図書を選定方法の見直し ◆市民が潜在的に求めている情報の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・各種統計や蔵書検索ワードなどの分析の検討 ◆デジタルデータ等の活用
本（読書）の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民が本とふれあい、本や読書の魅力に気付くことができる活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェアや講演会の開催 ・テーマ別ブックリストの作成 ◆図書館以外での活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域などでの本や読書の魅力の啓発

事業名	説明
図書館の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな広報の手法の研究 ・SNS等の効果的な活用によるイベントや新着情報などの発信
市民の情報活用能力(情報リテラシー ^{※3})の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆図書館利用講座等の開催 ・図書館の施設や利用方法、本をはじめ様々な情報の効果的な活用方法に関する講座などの開催 ・調査や情報収集の手段としての図書館を周知
郷土資料や貴重書等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆郷土資料のデジタル化 ◆郷土資料館や情報公開課との連携による「にしのみやデジタルアーカイブ」^{※4}への掲載資料の拡充
過ごしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の居場所づくり ・市民誰もが気軽に情報に接することができる環境整備 ・施設や備品の更新 ◆職員の意識と接遇の向上のための研修会等の開催
図書館の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆貸出、返却等のサービスポイントの拡充の検討 ◆来館困難な市民に対する配本サービスなどの検討 ◆ICカードやスマートフォンを使った図書館利用の検討

基本的運営方針

- 1 市民の読書活動を推進し、知る楽しみ・学ぶ喜びを支えます。

重点事業2 市民の生活や仕事に役立つ課題解決支援サービスの充実

地域の情報拠点である図書館は、市民の読書活動の支援だけでなく、市民が抱える課題の解決支援という役割が期待されています。そのため、市民が直面する課題や市民生活に影響を及ぼす地域の課題を把握し、地域資料^{※5}や行政資料^{※6}等を含めた多様な資料の収集やレファレンスサービスによる課題解決支援を一層充実させていきます。

また、市民が必要としている資料を効率的に探せるよう、テーマ別の特集棚の設置やブックリストの作成など検索環境の改善に努めます。

さらに、地域の課題解決や活性化については、必要に応じて公民館における地域学習活動などとの連携を図りながら支援していきます。

以上で示したような課題解決を支援するサービスに注力することが、新たな図書館の姿であることを積極的に発信していきます。

<事業内容>

事業名	説明
レファレンスサービス機能の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ◆レファレンス事例の公開 <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスで資料提供した事例のホームページなどでの公開 ◆相談窓口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・電話やインターネットなどを利用した相談窓口の拡充 ◆商用データベースの周知 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で利用できる商用データベース※⁷やその効果的な利用方法の広報 ・活用事例のホームページなどへの掲載 ◆専門書を含む蔵書の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・重点的に資料を収集している医療や子育て、消費教育の分野をはじめ、起業関係のビジネス書などの蔵書の充実 ◆大学や県立図書館等との連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・高度な専門書など本市図書館では所蔵していない資料に対応できるよう大学や県立図書館等との連携 ◆行政機関や専門機関等の情報収集の強化
まちづくりにつながる情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域団体・関係者への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・関連資料や情報などを提供する仕組みづくり ・市議会議員や市職員等への施策に関するレファレンスサービス
図書館の特性を生かした市民の学習への支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、専門機関、その他団体と連携した地域や市民個々の課題解決につながる講座などの開催 ◆市民の学習がより深まる資料の紹介
資料を探しやすい図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆館内レイアウト等の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい館内表示類を工夫 ◆テーマ別コーナーの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・医療や子育て、消費者教育、ビジネスに関する情報など市民の課題解決につながるテーマ別の資料を集めたコーナーの設置 ・テーマに関連したチラシやパンフレット、リーフレット類の収集、配布
職員の技術の向上 専門研修の開催	<ul style="list-style-type: none"> ◆技術向上・蓄積のための体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス担当者の配置 ・レファレンスマニュアルの作成 ・市民のニーズに、よりの確かつ迅速に対応するための図書館司書研修の実施

事業名	説明
職員の技術の向上 専門研修の開催	・関係課や専門機関、近隣市の図書館と連携・情報共有による専門的な知識やスキルを得るための研修の実施

基本的運営方針

- 1 市民の読書活動を推進し、知る楽しみ・学ぶ喜びを支えます。
- 2 市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点として、市民生活を支えます。
- 6 図書館司書の専門性を発揮し、市民サービスを提供します。

重点事業3 子供の読書活動の推進及び学校図書館等への支援の充実

子供の読書活動の重要性については、平成29年度に改訂された小学校学習指導要領解説（総則編）において、「読書は、多くの語彙や多様な表現を通して様々な世界に触れ、これを疑似的に体験したり知識を獲得したりして、新たな考え方に出会うことを可能にするものであり、言語能力を向上させる重要な活動の一つである」とされています。

図書館は、「西宮市子供読書活動推進計画」を基本に、子供の読書に対する関心を高め、読書活動を推進するために地域における中心的役割を果たしていきます。そのため、学校図書館や関係機関との連携を深め、子供が生活のあらゆる場面で読書に親しむことのできる取り組みを行います。

<事業内容>

事業名	説明
子供読書活動推進のための拠点づくり	<p>◆図書館機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童書の充実 ・児童コーナーの充実 ・おはなし会などの開催 ・学校との連携によるブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」の作成・配布 ・調べる学習講座や利用講座などの開催による子供の課題解決の支援 ・ホームページ内での読書履歴の記録システムの整備 ・外国語で書かれた絵本や多読資料^{*8}などの充実 ・図書館事業にブックトーク^{*9}やビブリオバトル^{*10}などの多様な技法を取り入れた取り組み

事業名	説明
子供読書活動推進のための拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆子供が集まる場所への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館、児童センターなど子育て関連機関の団体利用の促進 ・適応指導教室^{*11}での本に親しむ機会の提供 ・PTA、青少年愛護協議会、子ども会などの社会教育関係団体との連携 ・地域での子供読書活動の拠点の在り方についての研究
家庭における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者への子供の読書の大切さの啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート関連事業として、乳児相談でのボランティアによる読み聞かせの実施や、4か月健康診査時のブックリスト「絵本のゆりかご」の配布 ・ブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」（幼児版）や「絵本のゆりかご」、「絵本のポケット」の作成、配布 ・児童向け広報紙「しゃぼん玉」などによる広報
学校図書館への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校図書館運営の支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書管理などの継続した支援 ・学校図書館での調べ学習やブックトークなど学校での読書活動の支援の充実 ◆公用貸出^{*12}の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での読書や調べ学習に利用するテーマに沿ったセット本の公用貸出の充実 ・配送車の配備など効率的な活用に向けた研究 ◆今後の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館に学校連携担当者の配置など組織の見直し ・関係課、関係団体との連携によるモデル校実施も含めた今後の学校図書館支援の在り方の検討
障害のある子供への読書支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害のある子供への読書支援 <ul style="list-style-type: none"> ・点字資料やLLブック^{*13}など様々な障害に応じた資料の収集 ・西宮養護学校などでの読み聞かせ ・放課後等デイサービス^{*14}への訪問による読み聞かせ

基本的運営方針

3 子供たちが読書に親しむ環境づくりを推進します。

重点事業4 高齢者・障害のある人など来館困難な市民へのサービス拡充

西宮市第5次総合計画の将来人口推計によると、平成35年度には65歳以上の人口が約12万人、高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）が約25.3%となります。このような状況を踏まえて、高齢又は障害などの理由で図書館に来館することが困難な市民が本にふれ、楽しみ、学ぶ機会を確保していきます。

<事業内容>

事業内容	説明
来館困難な市民へのサービスの拡充	◆宅配サービス等の拡充 ・宅配サービスや郵送貸出を拡充 ・関係課との連携によるサービス内容の周知方法の研究 ◆配本サービス等の導入の検討 ・デイサービスなどの福祉施設への配本サービスを検討

基本的運営方針

- 2 市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点として、市民生活を支えます。
- 4 図書館利用が困難な市民に利用しやすい環境づくりを進めます。

その他の事業

(1) 多文化サービスの拡充

西宮市統計書によると、住民基本台帳に登録されている外国人総数は、平成25年末が6,204人であるのに対し、平成29年末は6,498人となっており、増加傾向にあります。そのため、本市在住の外国人が、日本語を学ぶことができる資料や日本で生活する上で必要な情報を得られる資料の収集・提供に努めます。

また、市民が多文化に親しんだり異文化を正しく理解したりするための支援が求められており、これに資するための資料の収集・提供にも努めます。

<事業内容>

- ◆外国語で書かれた資料の充実
- ◆日本語を学ぶための資料の充実
- ◆異文化を理解するための資料の充実
- ◆西宮市国際交流協会との連携

(2) 図書館ボランティアとの協働推進

おはなし会の開催や本の修理など、図書館ボランティアと協働して図書館サービスをより充実したものにするとともに、活躍できる場を広げていきます。

また、スキルアップのための研修なども実施していきます。

<事業内容>

- ◆活動機会の拡充
- ◆スキルアップ研修の実施

(3) 開館・開室日及び開室時間の見直し

市民の図書館利用をさらに促進するために、図書館及び分室の開館日などを見直します。

<事業内容>

- ◆分室の日曜日開室に向けた開室日及び開室時間の検討
- ◆図書館の開館日の検討

基本的運営方針

- 2 市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点として、市民生活を支えます。
- 4 図書館利用が困難な市民に利用しやすい環境づくりを進めます。
- 5 市民との協働を推進するとともに、市民に交流の機会・場を提供します。

<参考とする指標>

(1) 拠点館（中央・北部・鳴尾・北口）の入館者数

(単位：人)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
入 館 者 数	1,494,720	1,422,819	1,429,623	1,500,000
(説明) 人口の減少を踏まえ、現在の水準を維持				

(2) 貸出状況

(単位：冊)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
市民1人当たりの貸出冊数	7.3	6.9	7.1	7.3
(説明) 中核市平均 (H28年度 4.8冊) を上回る現在の水準を維持				

(3) 図書館と小中学校との連携状況

(単位：冊)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
公用貸出冊数	2,390	4,353	4,182	4,300
(説明) 小学校が年3回、中学校が年1回利用 (1回30冊)				

(4) 宅配サービス、郵送貸出登録状況

(単位：人)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
登 録 者 数	63	66	67	77
(説明) 毎年登録者が2名増加				

(5) 図書資料費 (当初予算)

(単位：円)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
市民1人当たりの図書資料費	99.9	97.3	100.1	115.2
(説明) H29年度中核市平均				

< 資料 1 > 西宮市市政モニター調査（平成30年度第 1 回）〔図書館関係のみ〕

問1 読書は好きですか（1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 好き	149	37.2%
2 どちらかといえば好き	175	43.6%
3 どちらかといえば嫌い	70	17.5%
4 嫌い	4	1.0%
無回答	3	0.7%
合計	401	100.0%

問2 1日あたり平均どれくらいの時間、読書（漫画や雑誌を除く）をしますか（1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 2時間以上	13	3.2%
2 1時間以上2時間未満	50	12.5%
3 30分以上1時間未満	106	26.4%
4 10分以上30分未満	104	25.9%
5 10分未満	46	11.5%
6 全くしない	80	20.0%
無回答	2	0.5%
合計	401	100.0%

問3 言葉や文字の意味を知りたい場合、主にどのような手段で調べますか（1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 紙の辞書	64	16.0%
2 電子辞書	20	5.0%
3 パソコン	68	17.0%
4 スマートフォン	222	55.4%
5 人に聞く	8	2.0%
6 その他	7	1.7%
無回答	12	3.0%
合計	401	100.0%

問4 子供のころに、身近な大人に絵本を読み聞かせしてもらったことがありますか（1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 よくしてもらった	120	29.9%
2 時々してもらった	120	29.9%
3 あまりしてもらわなかった	91	22.7%
4 ほとんどしてもらわなかった	70	17.5%
無回答	0	0.0%
合計	401	100.0%

問5 普段どの程度西宮市立図書館を利用していますか（最も近いものを1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 ほぼ毎日	3	0.7%
2 1週間に1回程度	15	3.7%
3 2週間に1回程度	41	10.2%
4 月に1回程度	42	10.5%
5 年に数回	69	17.2%
6 数年に1回	44	11.0%
7 利用していない	186	46.4%
無回答	1	0.2%
合計	401	100.0%

（問5で「7. 利用していない」以外を回答された方）

問6 図書館を利用する主な目的は何ですか（あてはまるものをすべて選んで○）

	回答数	構成比
1 本や雑誌を借りる	158	73.8%
2 本・新聞・雑誌を閲覧する	80	37.4%
3 CDを借りる	19	8.9%
4 CD・DVDを視聴する	7	3.3%
5 自習・調べ物をする	49	22.9%
6 座席を利用する	11	5.1%
7 図書館での行事に参加する	7	3.3%
8 ボランティアとして	0	0.0%
9 くつろぎを求めて	19	8.9%
10 その他	9	4.2%
無回答	0	0.0%
合計	359	-

（問5で「7. 利用していない」以外を回答された方）

問7 資料（本・雑誌・新聞・CD・DVD）の利用目的は何ですか（あてはまるものをすべて選んで○）

	回答数	構成比
1 趣味・教養	186	86.9%
2 個人的な研究	28	13.1%
3 仕事上の調べもの	27	12.6%
4 資格試験等の勉強	11	5.1%
5 生活上の情報を得る	68	31.8%
6 学校の勉強	6	2.8%
7 その他	6	2.8%
無回答	2	0.9%
合計	334	-

（問5で「7. 利用していない」以外を回答された方）

問8 図書館の資料に満足していますか（1つ選んで○）

	回答数	構成比
1 満足	26	12.1%
2 ほぼ満足	106	49.5%
3 どちらともいえない	55	25.7%
4 やや不満	18	8.4%
5 不満	7	3.3%
無回答	2	0.9%
合計	214	100.0%

(問5で「7. 利用していない」以外を回答された方)

問9 どのような分野の資料(本・雑誌)を充実させてほしいですか(あてはまるものをすべて選んで○)

	回答数	構成比
1 歴史	50	23.4%
2 法律	15	7.0%
3 経済	25	11.7%
4 医学・健康	61	28.5%
5 教育・子育て	41	19.2%
6 日本の小説	80	37.4%
7 海外の小説	23	10.7%
8 絵本	49	22.9%
9 絵本以外の児童書	35	16.4%
10 趣味・実用書	123	57.5%
11 外国語の資料	10	4.7%
12 その他	15	7.0%
無回答	2	0.9%
合計	529	-

(問5で「7. 利用していない」以外を回答された方)

問10 図書館には、どのようなことに優先的に取り組んでほしいですか(3つまで選んで○)

	回答数	構成比
1 本の充実	151	70.6%
2 雑誌・新聞の充実	43	20.1%
3 CD・DVDの充実	29	13.6%
4 調査・相談サービスの充実	12	5.6%
5 児童向けの本や行事の充実	42	19.6%
6 中学生・高校生世代向けの本や行事の充実	20	9.3%
7 来館困難な方へのサービスの充実	36	16.8%
8 講演会や講座等のイベントの充実	34	15.9%
9 開館時間の繰り上げ	12	5.6%
10 閉館時間の繰り下げ	36	16.8%
11 居心地の良い環境づくり	71	33.2%
12 その他	17	7.9%
無回答	4	1.9%
合計	507	-

(問5で「7. 利用していない」と回答された方)

問11 西宮市立図書館を利用しない理由は何ですか(3つまで選んで○)

	回答数	構成比
1 図書館の場所を知らない	40	21.5%
2 自宅や職場から遠い	50	26.9%
3 忙しくて図書館を利用する時間がない	70	37.6%
4 開館時間が利用しにくい	17	9.1%
5 本の受け取り、返却が面倒	60	32.3%
6 読みたい本や必要な資料がない	15	8.1%
7 高齢や病気で図書館に行けない	9	4.8%
8 本はあまり読まない	34	18.3%
9 本は購入している	78	41.9%
10 他市の図書館を利用している	4	2.2%
11 その他	22	11.8%
無回答	2	1.1%
合計	401	-

(問5で「7. 利用していない」と回答された方)

問12 どのようなサービスが拡大されれば、西宮市立図書館を利用したいと思いますか(3つまで選んで○)

	回答数	構成比
1 開館時間を早くする	4	2.2%
2 閉館時間を遅くする	34	18.3%
3 休館日を変更する	9	4.8%
4 返却ポストを増やす	46	24.7%
5 蔵書をさらに充実させる	22	11.8%
6 予約した本がより早く読めるようにする	26	14.0%
7 探している本について相談しやすくする	17	9.1%
8 児童向けの本や行事を充実させる	11	5.9%
9 来館困難な方へのサービスを充実させる	32	17.2%
10 施設のバリアフリー化を進める	2	1.1%
11 居心地の良い環境を作る	37	19.9%
12 市民が交流できるスペースを作る	5	2.7%
13 講演会や講座等のイベントを増やす	20	10.8%
14 条件に関わらず図書館は利用しない	43	23.1%
15 その他	23	12.4%
無回答	5	2.7%
合計	336	-

問13 普段どの程度西宮市立図書館のホームページを閲覧していますか(最も近いものを1つ選んで○)

	回答数	構成比
1 毎日	3	0.7%
2 週1回程度	13	3.2%
3 月1回程度	23	5.7%
4 2~3ヶ月に1回	23	5.7%
5 年1回	17	4.2%
6 年に1回未満	26	6.5%
7 閲覧していない	289	72.1%
無回答	7	1.7%
合計	401	100.0%

問14 西宮市立図書館からツイッターなどのSNSで、図書の新着情報やイベント案内、休館情報などを発信した場合、フォローしますか(1つ選んで○)

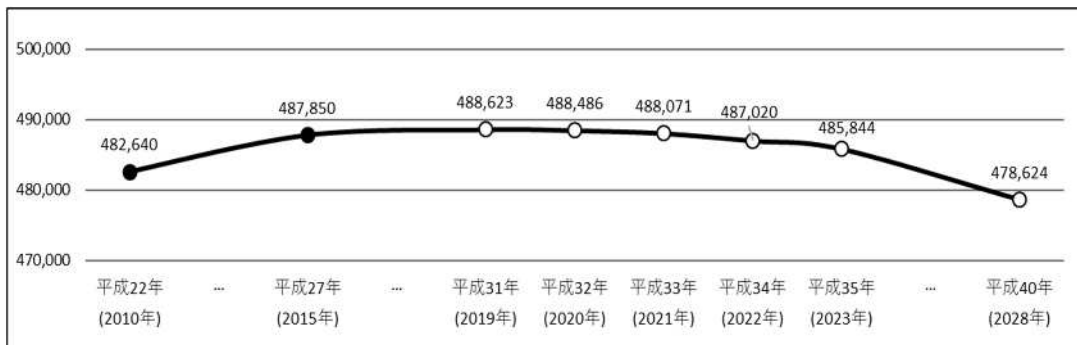
	回答数	構成比
1 する	70	17.5%
2 興味がないのではない	91	22.7%
3 SNSは利用しない	218	54.4%
4 その他	15	3.7%
無回答	7	1.7%
合計	401	100.0%

<資料2> 西宮市の将来人口推計（第5次西宮市総合計画より）

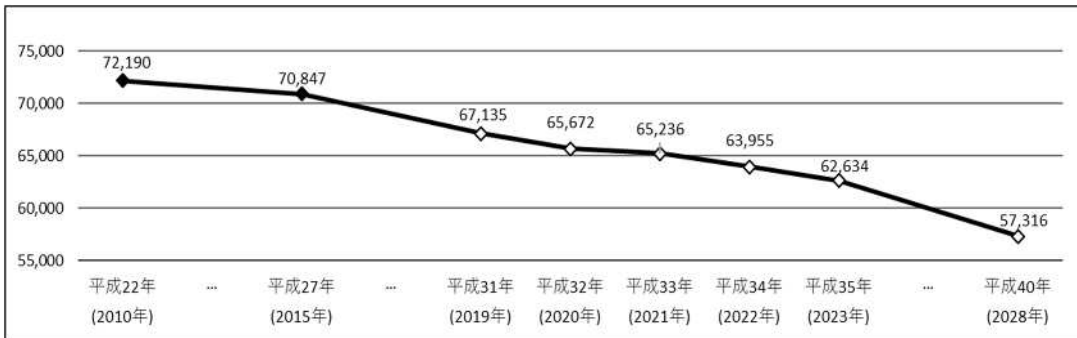
◆西宮市の将来人口推計

	平成22年 (2010年)	…	平成27年 (2015年)	…	平成31年 (2019年)	平成32年 (2020年)	平成33年 (2021年)	平成34年 (2022年)	平成35年 (2023年)	…	平成40年 (2028年)
0～14歳人口	72,190		70,847		67,135	65,672	65,236	63,955	62,634		57,316
15～64歳人口	316,616		306,440		303,455	302,510	300,561	300,644	300,409		292,308
65歳以上人口	93,834		110,563		118,033	120,304	122,274	122,421	122,801		129,000
総数	482,640		487,850		488,623	488,486	488,071	487,020	485,844		478,624

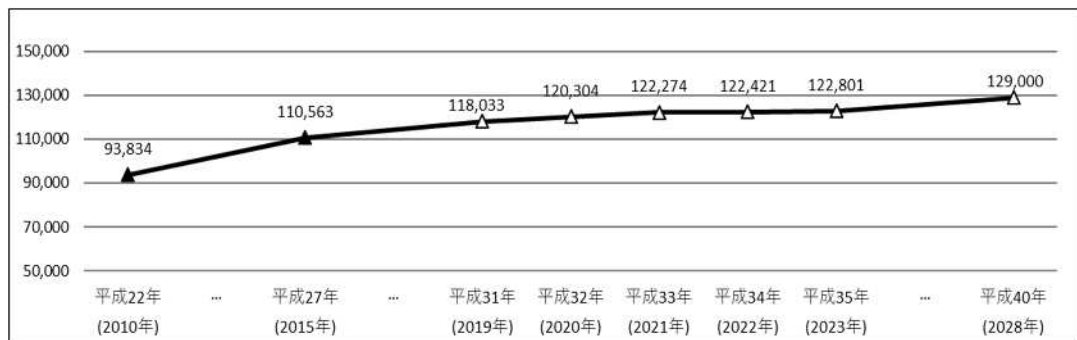
<人口総数の推移>



<0～14歳人口の推移>



<65歳以上人口の推移>



用語説明

1	レファレンスサービス	司書が、利用者の研究や調査のために必要な情報・資料を提供したり、読書相談に応じて本を紹介するサービス。
2	クラウドファンディング	不特定多数に事業やアイデアを提案して、賛同した人からインターネット経由で資金調達する方法。
3	情報リテラシー	情報を適切に利用、収集、整理、発信する能力。
4	にしのみやデジタルアーカイブ	市が所有する歴史資料(写真・古文書・貴重書など)をデジタル化したサイト。
5	地域資料	西宮の酒に関する資料や兵庫県の歴史についての資料など西宮市や近隣地域について述べられた資料。
6	行政資料	市の統計書など行政機関が発行した資料。
7	商用データベース	官報など企業が有料で公開しているデータベース。
8	多読資料	辞書を引かずに読めるやさしい英語の本。簡単なレベルから始めて、多くの本を読むことで、英語を日本語に置き換えるのではなく、英語として理解できるようになることを目指している。
9	ブックトーク	ひとつのテーマについて複数の本を紹介すること。聞き手に読みたいという気持ちを抱かせることを目的とする。
10	ビブリオバトル	発表者（5人程度）が好きな本を紹介し、参加者から質問を受けた後、参加者が読みたくなった本を投票して、「チャンプ本」を決定する行事。
11	適応指導教室	長期間学校に登校できない状態にある児童生徒に対して、学校復帰のための支援を行う教室。
12	公用貸出	市立図書館が学校などに資料を貸出すこと。
13	LLブック	難しい漢字や長い文章は使わず、ふりがな、写真、絵などを用いて読みやすく工夫された本。
14	放課後等デイサービス	児童福祉法に基づき、障害のある児童・生徒が放課後や学校休業日に通う、療育機能・居場所機能を備えた福祉サービス。